

令和3年度

病害虫発生予察情報

第6号

5月月報

北海道病害虫防除所 令和3年(2021年)6月15日

<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>

Tel:0123(89)2080・Fax:0123(89)2082

I. 気象概況 札幌管区气象台発表 北海道地方気象速報

－低気圧や気圧の谷の影響により、多雨・寡照。特に下旬は記録的な寡照。－

5月は、上旬と下旬を中心に低気圧や気圧の谷の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多かった。中旬は、高気圧の張り出しの中となつて晴れた日もあったが、低気圧や気圧の谷の影響で大雨となつた日もあった(16日に八雲町熊石で日降水量109.0mmなど)。このため、月間日照時間は、日本海側では5月として少ない方からの極値を更新した所もあった。気温は、中旬は平年より高く、月平均気温は平年並だった。降水量は、上旬は平年より少なく、中旬と下旬は平年より多く、月降水量は多かった。日照時間は、中旬は平年より多く、下旬はかなり少なく、月間日照時間は少なかった。なお、1961年の統計開始以降、下旬の日本海側と北海道地方の日照時間は少ない方から第2位の記録となった。

上旬：1～2日は低気圧の影響で日本海側とオホーツク海側では雨または雪が降つたが、太平洋側では晴れた所もあった。3～4日は低気圧を含む気圧の谷の影響で日本海側とオホーツク海側を中心に雨または雪が降つたが、4日は次第に高気圧の張り出しの中となつて太平洋側を中心に晴れた。5日は前線を伴つた低気圧の影響で広い範囲で雨が降つた。6日は高気圧の張り出しの中で、概ね晴れた。7日ははじめ高気圧の張り出しの中で晴れたが、気圧の谷の接近により夜には雨の降つた所があった。8日ははじめ気圧の谷の影響で雨が降つたが、昼過ぎから高気圧に覆われて晴れた。9日は前線を伴つた低気圧の通過により雨の降つた所が多かった。10日は低気圧を含む気圧の谷の影響で広い範囲で雨または雪が降つたが、太平洋側東部では晴れた所もあった。

中旬：11日は気圧の谷の影響で雨または雪の降つた所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となつて概ね晴れた。12日は高気圧に覆われて全道的に晴れた。13日は気圧の谷の影響で日本海側や太平洋側では雨の降つた所もあったが、日本海側北部では晴れた所もあった。14日は高気圧の張り出しの中となつて概ね晴れたが、オホーツク海側や太平洋側東部では大気の状態が不安定となり雨の降つた所があった。15日ははじめ高気圧に覆われて晴れた所もあったが、気圧の谷の通過により日本海側北部とオホーツク海側では雨の降つた所があった。16～17日は前線や低気圧の影響で全道的に雨が降り、大雨となつた所もあった。日降水量は16日に八雲町熊石で109.0mmなど。18日ははじめ気圧の谷の影響で太平洋側では雨の降つた所があったが、次第に高気圧に覆われて全道的に晴れた。19日は高気圧の張り出しの中となつて概ね晴れたが、気圧の谷の影響により日本海側南部と太平洋側では夕方から雨の降つた所があった。20日ははじめ低気圧の影響で太平洋側を中心に雨が降つたが、次第に高気圧に覆われて全道的に晴れた。

下旬：21日は前線を伴つた低気圧の影響で日本海側南部と太平洋側を中心に雨が降つた。22～24日は低気圧を含む気圧の谷の影響で広い範囲で雨が降つたが、24日は太平洋側東部で晴れた所もあった。25日は気圧の谷の中となり広い範囲で雨の降つた所が多かったが、昼過ぎから夕方にかけては晴れた所もあった。26日は高気圧の張り出しの中となつて全道的に晴れたが、オホーツク海側や太平洋側東部では大気の状態が不安定となり雨の降つた所があった。27日ははじめ高気圧の張り出しの中で晴れたが、低気圧の接近により昼前から雨が降つた。28～30日は低気圧を含む気圧の谷の影響で全道的に雨が降つた。31日ははじめ気圧の谷の影響で雨の降つた所があったが、次第に高気圧の張り出しの中となり晴れた所が多かった。

気候表(気温は平年差(℃)、降水量・日照時間・降雪量は比(%))を示す)

	気温偏差℃	階級	降水比%	階級	日照比%	階級
北海道22 地点平均	+0.3	並	123	多	80	少
日本海側10 地点平均	+0.2	並	140	か多	74	か少
オホーツク海側4 地点平均	-0.6	並	136	多	71	か少
太平洋側8 地点平均	+0.8	高	95	並	91	並

注)階級分布図の気温・降水量・日照時間は、概ね「高(多)」、「並」、「低(少)」の3段階で表示します。各階級の幅は、平年値の作成期間(1991～2020の30年間)における各階級の出現率が1:1:1となるように決めてあります。なお、平年値作成期間内の上位、下位10%の範囲に入る場合は「か高(多)」、「か低(少)」(か→かなり)で表します。

II. 病害虫発生概況

注) 本資料における表中の0の表記について

0のみの場合、調査時に発生がなかったことを示す。0.0あるいは0.00などは、四捨五入により数値が表示されていないことを示す。

A. 水稻

1. ヒメトビウンカ 発生期 やや早 (第1回成虫) 発生量 並 (第1回成虫)

予察田の畦畔すくい取りによる成虫の捕獲数は、長沼町、比布町、北斗市で平年並だった。比布町では5月5半旬のみ平年より多かった。畦畔すくい取りによる第1回成虫の初発期は、長沼町で5月1半旬(平年:5月4半旬)と早く、比布町で5月5半旬(平年:5月5半旬)と平年並、北斗市では5月4半旬(平年:5月3半旬)と平年よりやや遅かった。

畦畔におけるヒメトビウンカのすくい取り数

月・半旬	長沼町				比布町				北斗市			
	幼虫		成虫		幼虫		成虫		幼虫		成虫	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	9.4	4.1	1.3	2.2	0	21.1	0	0	0	1.0	0	0.5
2半旬	5.0	4.0	3.8	12.4	0	6.9	0	0	0	1.0	0	0.3
3半旬	0	1.7	22.5	9.7	0	8.3	0	0.6	0	0.3	0	1.3
4半旬	1.3	0.5	6.3	13.1	0	6.9	0	10.3	0	0	7.5	3.5
5半旬	0	0.5	2.5	6.2	0	5.3	95.0	27.3	0	0.3	5.0	1.0
6半旬	0	1.9	5.0	5.0	5.0	0.8	0	40.2	0	0	0	3.3
平年数	9				10				10			

注) 20回振り×5日分換算値

B. 秋まき小麦

1. 赤さび病 発生期 やや早 発生量 並 <5月17日付け注意報第2号発表>

予察ほの「きたほなみ」における初発期は、長沼町、訓子府町で平年より早く、芽室町では平年より遅かった。発生量は長沼町、訓子府町で平年並であった。

一般ほにおける巡回調査結果では、空知、胆振地方で発生が認められた。

予察ほにおける赤さび病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	きたほなみ	4月7日	4月25日	10
芽室町	きたほなみ	6月13日	5月11日	10
訓子府町	きたほなみ	4月29日	5月15日	10

予察ほにおける赤さび病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬		
			本年	平年	本年	平年	本年	平年	
長沼町	きたほなみ	全葉	0.21	0.02	0.12	0.09	0.53	0.65	10
		最上位葉	0	0	0	0	0.01	0.02	
		最上-1葉	0.13	0.00	0.01	0.00	0.25	0.20	
芽室町	きたほなみ	全葉	0	0.01	0	0.02	0	0.02	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0.01	0	0.00	
訓子府町	きたほなみ	全葉	0.01	0.00	0	0.01	0	0.01	10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0	
		最上-1葉	0	0	0	0	0	0	

一般ほにおける赤さび病の巡回調査結果

普及センター		病葉率(%)				普及センター		病葉率(%)				
		5月3半旬		5月6半旬				5月3半旬		5月6半旬		
		本年	前年	本年	前年			本年	前年	本年	前年	
空知	本所	0	0	0.5	0	留萌	本所	0	0	0	0	
	南東部	0	0	0	0		網走	本所	—	—	0	0
	南西部	0	0	0	0			清里	—	—	0	0
	北空知	0.7	0	0	0			網走	—	0	0	0
石狩	本所	0	0	0	0	美幌		—	—	0	0	
	北部	0	0	0	0	遠軽	—	—	0	0		
後志	本所	0	0	0	0	紋別	—	—	0	0		
胆振	本所	0	0	2.7	0	十勝	本所	0	0	0	0	
	東胆振	0	0	0	0		東部	0	0	0	0	
檜山	本所	0	0	0	0		東北部	0	0	0	0	
	北部	0	2.0	0	3		北部	0	0	0	0	
上川	本所	0	0	0	0		西部	0	0	0	0	
	富良野	0	0	0	0		南部	0	0	0	0	
	大雪	0	0	0	0							
	士別	0	0	0	0							
	名寄	0	0	0	0							

注1) — : 調査時期外のため未調査
注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率

2. うどんこ病 発生期 並 発生量 並

予察ほにおけるうどんこ病抵抗性“弱”品種「チホクコムギ」の初発日は、長沼町では平年より早く、訓子府町では平年よりやや早く、芽室町では遅かった。発生量は、長沼町では平年より多く、芽室町、訓子府町では少なかった。

一般ほにおける巡回調査結果では、胆振、オホーツク地方で発生が認められている。

予察ほにおけるうどんこ病の初発期

地点	品種名	初発期		平年数
		本年	平年	
長沼町	チホクコムギ	4月8日	4月29日	10
	きたほなみ	4月19日	5月7日	10
芽室町	チホクコムギ	5月18日	4月29日	10
	きたほなみ	5月26日	5月16日	10
訓子府町	チホクコムギ	4月29日	5月2日	10
	きたほなみ	5月25日	5月7日	10

予察ほにおけるうどんこ病の発生状況

地点	品種名	調査葉位	病斑面積率(%)						平年数	
			5月2半旬		5月4半旬		5月6半旬			
			本年	平年	本年	平年	本年	平年		
長沼町	チホクコムギ	全葉	11.18	1.46	7.42	1.98	8.15	3.00	10	
		最上位葉	0.45	0.03	0.54	0.02	0.38	0.07		
		最上-1葉	7.05	0.41	5.39	0.44	5.06	1.16		
	きたほなみ	全葉	0.41	0.03	0.17	0.06	0.35	0.04		10
		最上位葉	0	0	0	0	0.03	0		
		最上-1葉	0.07	0	0.02	0	0.19	0.01		
芽室町	チホクコムギ	全葉	0	0.22	0	1.22	0.01	3.98	10	
		最上位葉	0	0	0	0.01	0	0.30		
		最上-1葉	0	0.08	0	0.25	0	3.83		
	きたほなみ	全葉	0	0.00	0	0.01	0	0.02		10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0		
		最上-1葉	0	0	0	0.00	0	0.01		
訓子府町	チホクコムギ	全葉	0.05	2.74	0.18	2.65	1.66	3.21	10	
		最上位葉	0	0.01	0	0.01	0	0.03		
		最上-1葉	0	0.40	0	0.48	0.03	0.58		
	きたほなみ	全葉	0	0.04	0	0.05	0.01	0.03		10
		最上位葉	0	0	0	0	0	0		
		最上-1葉	0	0.00	0	0.01	0	0		

一般ほでのうどんこ病の巡回調査結果

普及センター	病葉率(%)			
	5月3半旬		5月6半旬	
	本年	前年	本年	前年
空知 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
石狩 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
後志 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
胆振 本所	0	0	4.0	0
	0	0	0	0
檜山 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
上川 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	3.3	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0

普及センター	病葉率(%)			
	5月3半旬		5月6半旬	
	本年	前年	本年	前年
留萌 本所	0	0	0	0
網走 本所	—	—	0	0
	—	—	3.3	0
	—	0	0	0
	—	—	0	0
	—	—	0	0
十勝 本所	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0
	0	0	0	0

注1) —: 調査時期外のため未調査

注2) 病葉率: 最上位葉の1枚下の葉の病葉率

C. 春まき小麦

1. ムギキモグリバエ

発生期 やや早 発生量 並

予察ほのすくい取りによる成虫の初発期は、長沼町で5月14日(平年: 5月19日)と平年よりやや早く、比布町で5月21日(平年: 5月22日)と平年並であった。成虫のすくい取り数は、長沼町で平年より多く、比布町で平年より少なかった。

予察ほにおけるムギキモグリバエのすくい取り数

月・半旬	長沼町		比布町	
	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	—	0	—
2半旬	0	—	0	—
3半旬	4.2	9.8	0	5.0
4半旬	36.7	4.4	0	9.1
5半旬	56.3	15.9	5.0	43.0
6半旬	61.7	41.1	5.0	104.8
平年数	10		10	

注1) 20回振り×5日分換算値

注2) —は平年値なし

D. てんさい

1. テンサイトビハムシ 発生期 並 発生量 やや少

予察ほにおける被害の初発期は、芽室町で5月2半旬（平年：5月4半旬）と平年より早く、訓子府町では5月4半旬（平年：5月4半旬）と平年並、長沼町で5月4半旬（平年：5月3半旬）と平年よりやや遅かった。被害程度は、芽室町で平年よりやや高く、長沼町および訓子府町では平年より低かった。

予察ほにおけるテンサイトビハムシによる食害程度

月・半旬	長沼町		芽室町		訓子府町	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	0	1.9	0	0	-	-
2半旬	0	3.4	4	0.1	0	0.1
3半旬	0	8.4	5	0.4	0	3.6
4半旬	5	14.8	7	1.3	3	6.7
5半旬	8	17.9	9	3.7	7	13
6半旬	13	26.4	8	7.4	15	19.9
平年数	10		10		9	

注) -は未調査

E. あぶらな科野菜

1. コナガ 発生量 並

フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、比布町および芽室町で平年より多く、北斗市で平年よりやや多く、長沼町、訓子府町、および滝川市では平年より少なかった。

コナガのフェロモントラップによる誘殺数

月・半旬	長沼町		比布町		北斗市		芽室町		訓子府町		滝川市	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
5月1半旬	1	2.1	1	47.3	6	18.2	0	4.0	0	1.2	0	2.7
2半旬	8	10.0	83	30.3	54	29.4	8	4.3	3	1.4	6	3.8
3半旬	5	7.9	285	47.2	32	28.5	16	4.8	0	2.1	1	3.8
4半旬	12	22.5	232	34.0	80	34.4	30	7.2	6	5.6	5	9.3
5半旬	6	26.5	71	75.0	26	37.7	33	13.2	2.5	13.4	0	10.2
6半旬	7	42.3	63	46.7	32	41.5	11	18.0	1.5	14.9	3	7.3
平年数	10		6		10		10		10		6	

F. りんご

1. モニリア病 発生期 — 発生量 少

長沼町と余市町の予察園では、葉腐れ及び花腐れは認められなかった。
一般園における巡回調査結果では、発生は認められていない。

予察園におけるモニリア病の初発期

地点	品種名	防除有無	葉腐れ		花腐れ		平年数
			本年	平年	本年	平年	
長沼町	昂林	無	未発生	5月21日	未発生	5月30日	10
余市町B	昂林	有	未発生	-			-

予察園におけるモニリア病の発生状況

地点	品種名	防除有無	調査時期	花葉叢率(%)				平年数
				葉腐れ		花腐れ		
				本年	平年	本年	平年	
長沼町	昂林	無	5月1半旬	0	0	0	0	10
			2半旬	0	0	0	0	
			3半旬	0	0	0	0	
			4半旬	0	0.02	0	0	
			5半旬	0	0.05	0	0	
			6半旬	0	0.05	0	0.15	
余市町B	昂林	有	5月1週目	0	-			-
			2週目	0	-			
			3週目	0	-			
			4週目	0	-			
			5週目	0	-			

一般園におけるモニリア病の巡回調査結果

普及センター		発病花葉叢数	
		本年	前年
後志	北後志	0	0
胆振	本所	0	0
渡島	本所	0	0
留萌	南留萌	0	0

注) 1樹当たり発病花葉叢数、10樹調査(開花直前)

2. ハマキムシ類 発生期 やや遅 発生量 多

ミダレカクモンハマキ越冬卵のふ化最盛期は、長沼町で5月10日（平年：5月7日）と平年よりやや遅かった。開花直前の被害花叢率は、長沼町で平年より高かった。余市町では越冬卵及び被害が認められなかった。

ハマキムシ類の越冬卵ふ化状況と被害発生状況

地点	長沼町		余市町A		余市町B	
	無		有		有	
防除有無						
項目	本年	平年	本年	平年	本年	平年
ミダレカクモンハマキふ化最盛期	5月10日	5月7日	-	5月8日		
開花直前被害花叢率(%)	58.0	8.1	0	0.0	0	0.1
平年数	10		10		10	

BLASTAMならびにFLABSの運用について

水稲の葉いもち発生予察システム「BLASTAM(プラスタム)」による広域発生期判定結果、ならびにばれいしょの疫病初発予測システム「FLABS(フラブス)」による予測結果を防除所のホームページに掲載します。

アドレス(<http://www.agri.hro.or.jp/boujoshou/>)または「北海道病害虫防除所」で検索してください。

「BLASTAM」では、道内約50地点について、葉いもちの感染好適日を判定します。

「FLABS」では、道内約25地点の農作物生育状況調査ほ場(作況ほ)等の萌芽日をもとに疫病の初発日予測を行います。

「BLASTAM」、「FLABS」とも随時更新していきますので、計画的な防除にお役立て下さい。